



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2016~2017年度クラブテーマ
会長 岩上 義明

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1396 / 2017. 02. 03

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「未来に向かって 皆で一歩前へ進もう！」

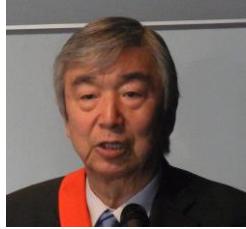
●本日の例会/ 2017年 2月 3日 第1427回

卓話：「スーラ作『グランド ジャット島の
日曜日の午後』」

ベルギー王立美術館後任研究員 森 耕治 氏

●前回報告／2016年 1月 27日 第1426回例会

卓話：イニシエーションスピーチ
奥野 敦 氏



ご紹介者：西澤会員

米山奨学会委員会：(浅沼委員長)

先日地区の米山委員会へ出席いたしました。各クラブに米山奨学会の理解を深めていただき寄付のご協力をお願いしていくことになりました。皆様ご協力お願いいたします。

西澤ガバナー補佐

2点ほどお願ひしたいことがあります。

①2/22の地区大会本会議におきまして、地区内のクラブ紹介の時間がございますが、今年度は昼食休憩の後、午後12時50分開始を予定しております。昨年までは午前中に行っていましたが、本年度は午後に行います。お忙しいとは思いますが、午後のクラブ紹介の時間には会場にお越し頂ければと思います。

②インターナショナルミーティング（IM）のご案内です。3/13(月)16:00～19:30 交詢社で開催いたします。入会3年未満の方を対象としておりますが、お時間の都合のつく方は是非ご出席いただきたくお願い申し上げます。入会の浅い方は他クラブの方と交流できる良い機会なので積極的にご参加いただければと思います。

幹事報告：

地区地域社会奉仕委員会で開催します奉仕のつどいのご案内です。3/7 港区赤坂地区センターで13:00～17:00に開催されます。奉仕関係の委員長様、委員の皆様は是非ご参加いただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

出席報告：会員 55名 / 出席 29名 欠席 26名
ゲスト：谷口友保 計1名（順不同・敬称略）

Member's Voice

めんぼう NO. 111

浅沼 洋一

お昼をご一緒にする

東京赤坂ロータリークラブにお伺いして早や約2年が経過しようとしています。

「お昼ご飯は毎日食べるよね?」「はい」、「ロータリークラブは週に1回お昼ご飯を食べに来れば良いんだよ!」というやさしい言葉からビジター参加したところ、クラブの雰囲気がとても格式高く親切なメンバーの皆様にすっかり魅了され加えて当初の言葉をそのまま鵜呑みにし、「お昼ご飯を食べに行くだけ!」という低い志で入会致しましたが、状況は刻一刻と変化して参りました。

それは至極当然のことで、順調なロータリー運営は、メンバーの方々をはじめ事務局の沢山のご苦労のお蔭で成り立っているということを理解するのにさほど時間はかかるなかったからです。

フリーライドで気軽に過ごせる時期から、何れお鉢が回ってくることは想像の範囲ではありました。突然2017-2018年度は理事予定者をご指名頂きましたので、これまでのご恩をお返しする上で精一杯お力に成れればと思います。

短い年数での回顧となりますが、週1回金曜日の例会に参加し、1時間以内に、ロータリーソングと唱歌の2曲、ご挨拶、報告事項、卓話、食事という盛り沢山のメニューで、当初は何がどう進行しているのかさっぱり分りませんでしたが、最近では譜面を見ずにロータリーソングも唄える様になり、唱歌については子どもの頃を思い出し、心が洗われ精神的にもリフレッシュでき、とても充実致しております。諸々の事業活動に於いても、奉仕という社会的意義が高く、共感しており、誇りを持って活動ができます。

これからも、東京赤坂ロータリークラブで社会に奉仕し、多くを学び、成長して参りたいと思います。

ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

● 次回予告 / 2017年 2月 10日 第1428回例会

卓話：「小児がん 治療の進歩と問題点」

聖路加病院小児科医師 真部 淳 氏

国際ロータリーのライズリー次期会長が次年度のテーマを発表

16日（月）、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアンH.S.ライズリー氏（オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属）が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑制が極めて重要であると訴えました。

次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。

環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」

環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」

会長エレクトはさらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。

「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です」

「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています」と会長エレクト。「それは、この取り組みを通じて、この地球上に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」

ロータリーの未来を守る

ライズリー会長エレクトはさらに、2017-18年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

ロータリーにおける女性会員の割合は、10年前の13パーセントよりは増えたものの、現在も全体の22パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと30年かかると、ライズリー氏は述べます。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています」

「私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30年も待っていられません。今、これに優先して取りかかる必要があります」

539名の次期ガバナーのうち103名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人とつながり、すべての人を代表し、支援するため

にリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要正在と述べました。

さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。

「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。（中略）このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」



ロータリー：
変化をもたらす

(<https://www.rotary.org/ja> ニュース・記事特集より)



1月27日 14件28,000円
累計 890,500円

多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

岩上義明/奥野さん本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしてました。大谷さんご苦労様です。河邊幸夫/大谷さんニコニコお疲れ様です。奥野さんイニシエーション頑張ってください。入沢頼二/奥野さんイニシエーションスピーチ楽しみにしております。大谷さん2回目のニコニコご苦労様。高須康有/奥野さんイニシエーションスピーチ頑張ってください。尾関武男/大谷さんニコニコご苦労様です。土屋東一、石井謙次、藤井万博、熊本誠司、金山驥/奥野さんイニシエーションスピーチ楽しみです。大谷さんニコニコご苦労さまです。西澤民夫/奥野さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。谷口さん大歓迎です。のびのびやって下さい。清水實/今日は37階だがまだ富士山は見えない。そのうち見えるかな。木下京子/奥野さんスピーチを楽しみにしています。大谷啓子/大雪の地域があって大変ですが、東京は穏やかなお日様がでています。災害の少ないことを祈っています。

◎ 2月ロータリーレートは、1ドル= 116 円 です。